

指導のポイント

ゲームをするときや振り返りの際に活用する、それぞれのストーリー、カードのポイントを整理したものです。

「命を守る」ための 防災教育イラスト ～地震編～

防災カードゲーム「このつきなにがおきるかな？」及び「命を守るための 防災教育イラスト」は、災害が発生したときに起こる危険な状況をイラストで表現し、カードゲームとしたものです。子供たちが遊びながら防災について学び、楽しみながら防災力を身につけることを目的としています。

【漢字の用法について】

カードゲーム内で用いる漢字は、教育漢字(6年生までに学習する漢字)を基本とし、ふりがなは、小学3年生までに学習しない漢字を対象に付しています。漢字の用法については、本カードゲームは上記目的のとおり子供達(小・中学生)に活用していただくことを想定していることから、小学校で学習しない漢字を用いた熟語等は、語彙の意味が伝わらない可能性を鑑みて対応しています。(教育漢字以外の漢字を用いる語彙は、単純に平仮名で表現することは極力避け、可能な限り分かり易い表現に言い換えています。)

一方で、ふりがなは、災害が発生したときに起こる危険な状況等を小学校の上級生(4年生以上)には理解していただきたいと考え、4年生以上であれば無理なく読むことができるように配慮しています。

なお、【震】は、教育漢字ではありませんが、【地震編】のメインテーマであることから、ふりがなを付して使用しています。

①危険を察知できる（震前対応）

災害の種類：地震

解説：
地震時に部屋の中で家具などの倒壊に巻き込まれる。

（子ども向け解説）

固定していない家具は、地震のゆれで、たおれてくるよ

⇒地震を感じたら、落ちてくる、たおれてくる、動いてくるものから、はなれよう。

イラストでは、タンスの下敷となつていますが、これは「倒れてくるもの」の代表例です。
室内照明、テレビなど「落ちてくるもの」「うごいてくるもの」から離れることも指導のポイントです。



地震時に落ちる、倒れる、動くことが懸念される家具を表示しています。

固 固定していない

家具は

地 地震のゆれで

た おれてくるよ

倒れた家具などによって逃げ道をふさがれるなどの2次的な影響も懸念されます。
直接の被害だけでなく、落ちたり、倒れたり、動いたりすることで、影響することを考えるのも効果的です。

②危険を察知できる（地震発生時対応）

災害の種類：地震

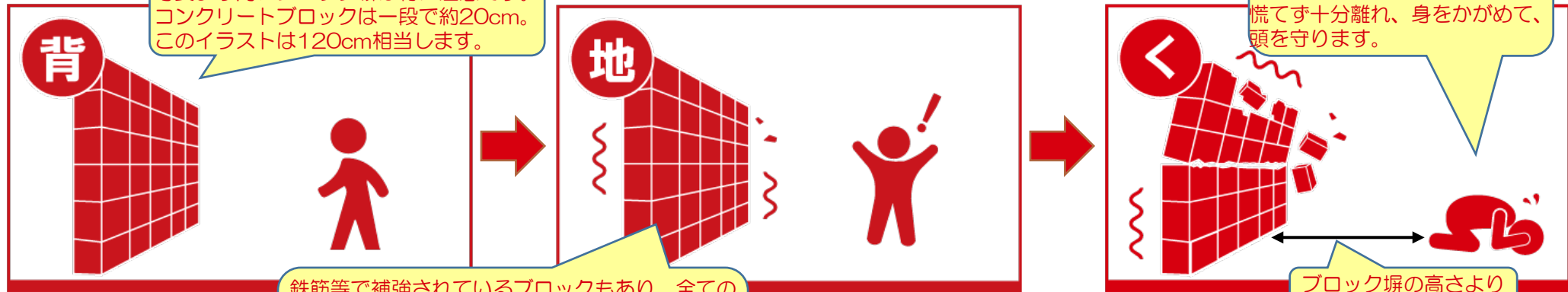
解説：

地震時にブロック塀の倒壊に巻き込まれる。

（子ども向け解説）

背の低いブロックべいは、地震のゆれで、くずれたり、たおれてきたりすることがあるよ
⇒ブロックべいの近くで地震を感じたら、へいの高さと同じくらいはなれよう！

身長より高いブロック塀は特に注意です。
コンクリートブロックは一段で約20cm。
このイラストは120cm相当します。



地震の揺れを感じてから、ブロック塀が倒れるまでにはそれなりに時間があります。
慌てず十分離れ、身をかがめて、頭を守ります。

ブロック塀の高さより遠くに離れましょう



の低い

ブロックべいは

鉄筋等で補強されているブロックもあり、全てのブロック塀が危険とは限りません。
ただし、外見では判断が付きにくいので、地震が起きたときにブロック塀から離れる行為は、児童の命を守るために必要です。

地震のゆれで

学校や自宅の周辺にあるブロック塀について地図などを使って考えましょう。



くずれたり、
たおれてきたり
することがあるよ

②危険を察知できる（地震発生時対応）

災害の種類：地震

解説：

調理中に地震が発生し、無理に火を止めようとして火傷を負ってしまう。

（子ども向け解説）

料理中に地震を感じて、火をあわてて止めようすると、熱いお湯や油がかかってしまうよ

⇒まずは身を守ろう！ガスやIHヒータは勝手に止まるよ。



③震後の備えをする 災害の種類：地震

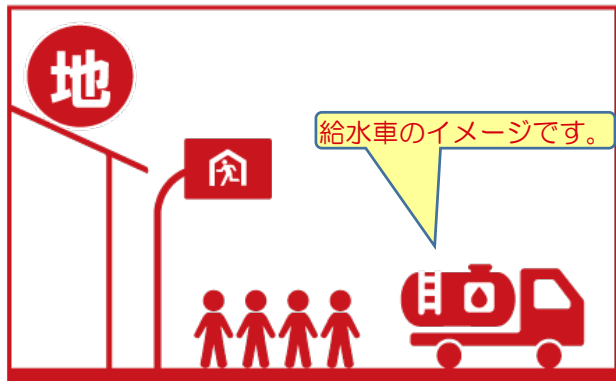
解説：
地震発生後の避難生活で二次的に被災する。

(子ども向け解説)

地震の後は、トイレの水が、流せないことがあるよ

⇒トイレが使えなくても困らないように、災害用トイレを用意しておこう！

トイレが流せなくなる原因は
・断水などにより流す水がない
・排水設備（下水道施設を含む）の損傷
があります。
このイラストでは、どちらかは特定したイメージとはしていません。



地 震の後は

ト イレの水が

流 せないことが

あるよ

マンションは、停電に伴い断水することがあります。
お風呂に水をためておく等の備えをしましょう。
災害用簡易トイレの他、トイレトーパーなどの備蓄も合わせて必要です。

③震後の備えをする 災害の種類：地震

解説：
地震後は物資などが手に入りにくく、生活に不自由が生じる。

(子ども向け解説)

地震じしんが起こると、道路が使えなくなって、品物がお店から無なくなってしまふことがあるよ
⇒地震じしんの後に困らないように、生活に必要な物を用意しておこう！

道路や橋梁などの社会インフラは地震に備えた対策をしていますが、平時から災害時に備えた備蓄等をしてきましょう。
マンションでは、停電に伴うエレベーターの停止なども想定されます。
水などの備蓄も考えましょう。



地震発生時に落石が発生することがあります。地震を感じたときは斜面にも注意しましょう。

橋梁は、桁、橋脚、橋台を比較的正確に表現しています。

地震が起ると

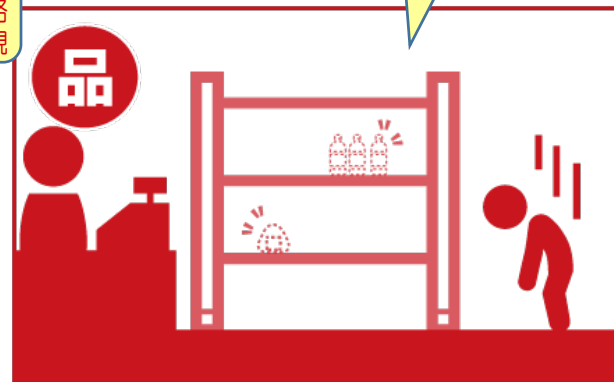


地震により道路が使用できなくなる要因を橋梁取付部の段差、道路の不陸、落石などの障害物で表現

地震で、橋梁は基本的に落ちないことを表示しています。

橋梁取付部の段差は、桁と橋台の境界ではなく、橋台背面盛土であることを表現しています。

道路が使えなくなつて



品物がお店から無なくなつてしまふことがあるよ

④地震のメカニズムと特徴を知る。

災害の種類：地震

解説：
大規模地震時の初動が遅れる。

(子ども向け解説)

ゆれている時間が、長〜く続いた地震は、大きな災害になっていることがあるよ
⇒テレビやラジオ、インターネットで情報を集めよう。

テレビのニュース報道を想定したイラストです。
テレビやラジオ、公共機関から発信される情報など発信元が明らかな正しい情報を集めるようにしましょう。
インターネットやSNSなどで発信される情報も有効ですが、誤った情報が流される危険性もあります。

地震を感じて机の下で身を守る場合は、机の脚をしっかりと支え、机が動くのをおさえます。



ゆ れている時間が

東北地方太平洋沖地震（東日本大震災、マグニチュード9.0）では、5分以上揺れが続きました。

な が〜く続いた
地震は

大 きな災害に
なっていることが
あるよ

④地震のメカニズムと特徴を知る。

災害の種類：地震

解説：

地震が発生した後に、安全確認を怠り、余震で被災する。

(子ども向け解説)

一度ゆれが収まった後でも、もう一度大きな地震が来て、ケガをすることがあるよ
⇒大きな地震の後には、落ちてくる、たおれてくる、動いてくるものを、もう一度確認しよう。

地震後は、応急危険度判定制度に基づき家屋の危険度判定が行われます。「危険」と判断された場合は、余震などにより倒壊する恐れがあります。建物に立ち入らないようにしましょう。イラストの家屋は、「要注意」レベルの家屋をイメージしています。



一 熊本地震では、熊本県益城町で震度7が観測された2日後に再び、震度7の揺れが発生しました。大きな地震の後の地震（一般的に余震と呼ばれる）は、必ず最初の地震より小さいわけではありません。後に発生する地震の方が大きいこと（後の方が本震）もあります。

もう一度大きな地震が来て

ケ ガをすることがあるよ